

シリーズ⑥ おいどんがふるさと 柏原区

さつま町内の20区公民館が取り組んでいる特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 水流 健二さん

柏原区は、さつま町の市街地から北東へ約4キロメートルに位置し、紫尾山系を源とする夜星川が貫流しており、その周辺には水田が開け、良質な米の生産が行われています。

また、大規模な肥育農家もあるなど畜産も盛んに行われています。

春は、市場・諏訪下集落の南方神社祭り、夏は、ホテルコンサート、秋の区と小学校の合同運動会では郷土芸能の「秋津島舞い」や「浅山棒踊り」の披露、冬は、グラウンドゴルフ大会など様々な行事が行われています。



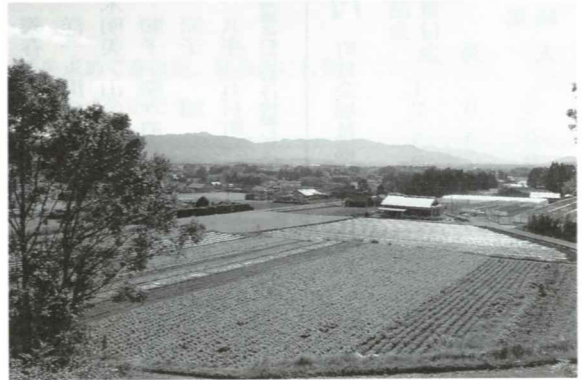
◆人口 1,606人、世帯数 593世帯、公民会数 8公民会

文化財



柏原グラウンドの敷地にある「柏原山下石塔群」は鎌倉時代に渋谷氏が関東から川内川流域に下向してきた時、その一族である祁答院氏が、当初この付近に居住したのではないかと推定される重要な史跡で、歴史好きの方にはおすすめです。

景勝地



京塚原の高台にある「菅野公園」は、南には京塚原や霧島山を一望でき、北には雄大な紫尾山を望める絶好のスポットです。公園内には、宮之城で養蚕の指導にあたった菅野平十郎が建てた養蚕記念碑（遺錦）があります。

イベント



5月中旬に開催される「ホテルコンサート」は、園児から一般、近隣の音楽愛好家が参加して、合奏や楽器の演奏が行われ、多くの来場者で賑わいます。また、秋には集落毎に十五夜行事が行われ、綱引きや相撲などで大いに盛り上がります。

地域活動



区内の女性の方々が中心となって「むじよか亭」を発足させ、「もの作り」を基本（条件）に整備された区集会施設を活用し、地区の農産物を利用して加工食品を作るなど、地産地消活動に積極的に取り組んでいます。また、新ごぼうの振興にも力を入れています。